

登録団体概要書

(R8年2月作成)

(ふりがな) 団 体 名		とくていひえいりかつどうほうじんもり <small>さんぼたい</small> 特定非営利活動法人森のようちえんお山歩隊			
代表者職・氏名		代表理事 湊 千恵			
主たる事務所の 所 在 地		〒761-0323 高松市亀田町 293 番地 2			
連 絡 先 等		電 話	090-2820-3076	FAX	
		e-mail	osanpotai@hotmail.co.jp		
		ホームページ	osanpo.sunnyday.jp		
法人設立年月		令和2年 4月	正会員数	20人	
活 動 目 的 (定款に記載された 目 的)		主に高松市内の里山等を活かした活動を通して、子どもの時間を保障し子どもが自ら育つことを見守る「子育て支援」及び、子育てに おいて直面する困難の中にも、親が子育ての喜びを実感できる「親 育ち支援」により、一人一人が自分らしく今を輝かせ、人と人がつながり、共に助け合い、そして子どもも大人もすべての人が育ち合う社会の実現に寄与することを目的とする。			
主たる活動分野		子育て支援			
活 動 状 況	主 な 活 動	子ども主体の生活環境の場の提供事業(森のようちえん事業) 親子で共に育ち合える場の提供事業(森の親子組事業) 学校以外の学びの場・居場所の提供事業(森のがっこう事業) 環境教育や子育てに関連する各種講座開催事業(森の出張事業)			
	活 動 地 域	高松市西植田町			
	活 動 頻 度	通年/週5回(長期休暇あり)…森のようちえん事業 週1回…森の親子組事業 月1回…森のがっこう事業 年1回程度…森の出張事業			
	過 去 の 事 業 実 績	2009 「親子組」週1回の活動を開始 2011 参加者の増加、要望を受け週3回の活動 2012 「森のようちえんお山歩隊」へ改名 ようちえん組週5回、「親子組」週1回の活動 2016 内閣府チャイルドユースサポート章 受賞 2017 「森のがっこう」月1回の活動開始 2019 ようちえん組高松市認可外保育施設として届出 みんな子育て応援団大賞四国新聞社賞 受賞 2020 NPO 法人化			
今後の活動方針		今後も西植田地区の豊かな里山環境を活かした幼児保育を中心とした活動を行い、両親はもちろん、地域の方々や他団体とも協力し、すべての人が育ち合う社会の実現に寄与したい。また、里山と人を繋ぐ循環が生まれる居場所づくりをしていきたい。			

<p>県民へのPR</p>	<p>森のようちえんお山歩隊は、17年間にわたり自然の中で子どもと大人が共に育つ活動を継続してきました。単なる自然体験ではなく、里山整備・再生活動と結びつけ、子どもの育ちと地域環境の再生を同時に実践してきました。香川県立森林公園ドングリランドとの共催による親子活動や、保育士・子育て世帯を対象とした講演会を通して、子どもの育ちや保育の理念と実践を広く県民へ届けてきました。</p> <p>近年、自然体験の減少や里山の荒廃、子育ての孤立といった課題が深刻化する中、本事業はこれらを同時に解決し得る持続可能な地域モデルとして機能しています。子どもたちが日常的に自然の中で育つ環境は、今、急速に失われつつあります。同時に、里山もまた手入れする人を失い、静かに荒廃が進んでいます。森のようちえんお山歩隊は、17年間その両方に向き合い続けてきました。子どもの育ちと森の再生を結びつけるこの取り組みを、より多くの県民へ広げていきたいです。</p>
---------------	---

(注1) 団体登録された場合、この概要書は、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

活動状況報告書

(R8年2月作成)

団体名 森のようちえんお山歩隊

登録要件	登録要件に関する団体の活動状況等
<p>広く県民を対象とするNPO活動を行っていること</p>	<p>ようちえん組事業では、高松市在住の家庭が大半ではあるが、香川県では唯一の「森のようちえん」であることから、一定のニーズが認められ、三豊市、丸亀市、坂出市から通園実績がある。来たい気持ちがあれば、どなたでも入園可能であるし、それをサポートする体制である。また、親子組事業でも同様に、他ではできない自然体験活動や、「大人が与えすぎずゆったりと見守り、より良く成長したいとする子ども自身の力を信じて待つ」という理念に共感した親子連れが継続、または単発で参加している。活動の予定や内容をお知らせする「親子組通信」を2ヶ月毎に500部発行し、高松市を中心に子育て支援施設や、図書館、スーパー、飲食店などに配置し、広報にも努めている。さらに、研究・研修目的の社会人や学生ボランティア等も随時受け入れている。</p>
<p>より公益性の高いNPO活動を行っていること</p>	<p>県立森林公園であるドングリランドの指定管理者NPO法人どんりネットワークとの共催事業として、毎週水曜日ドングリランドで「森の親子広場」を開催している。未就学児の親子連れを対象とし、里山の散策やおくどさんで薪を使った野外調理をするなど、登録隊員として継続的に参加する「親子組」と一緒に、県立施設と連携した地域に開かれた事業を実施している。高松市認可外保育施設として、13年間にわたり地域密着型の自然保育事業を実施している。本活動は子どもの健全育成にとどまらず、地域環境の保全および地域コミュニティ形成に寄与する公益性の高い取り組みと考えている。さらに、子育て中の親や保育・教育関係者、その他子どもに関わる全ての人を対象に、長年保育の実践・研究に従事している等保育に精通した講師を招聘し、子どもの本質や質の高い保育のあり方についての講演会を年1回程度実施し、その考え方を多くの方に知ってもらうことで、子育てに喜びや楽しみを持ち、安心して子どもを生み育てることができる地域づくり、社会づくりに貢献できると考えている。</p>
<p>活発なNPO活動を継続的に行い、当該活動に発展性及び模範性があること</p>	<p>本活動は単発事業ではなく、年間を通じた継続的な自然体験活動として実施している。子どもたちの成長に合わせて内容を深めることができる仕組みを持ち、継続することで教育効果が高まる事業を行っている。今後は、1～3歳の親子サークルから森のようちえんへの接続を強化し、乳幼児期を通した一貫した自然保育の仕組みを構築していきたい。また、里山整備や再生活動とも連動させ、子どもたちが日常的に利用する森を自ら整え、手入れし、循環させていく取り組みを行うことで、環境保全と子育て支援を一体化した実践を継続している。今後は、地域住民やボランティアとの協働をさらに広げ、里山再生と自然保育を結びつけた持続可能なモデルとして発展させていきたい。長年の実績と地域との信頼関係に基づく本取り組みは、人口減少社会における地域資源活用型の子育て支援の模範事例となり得るものと考えている。</p>

- (注1)この報告書は、団体の活動内容が登録要件を満たしているかを審査するための資料として用い、また、団体登録された場合、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。
- (注2)枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。
- (注3)活動の状況等が分かる資料等があれば添付ください。